



演題：腐食現象をマルチフィジックス計算で眺める魅力

講師：山本 正弘 客員教授

東北大学 原子炉廃止措置基盤研究センター



日時：2025年4月24日（木）16:00~17:00

場所：北海道大学工学部材料化学棟大会議室（MC526）

共催：（公社）腐食防食学会北海道支部

協賛：（一社）表面技術協会北海道支部

要旨：マルチフィジックス計算というと、何か複雑な理論が必要ではないかなどと感じられる人は多いと思う。しかしながら、実態は通常我々が使っている簡単な基礎方程式を組み合わせ、数字として計算結果を示しているだけである。ただし、腐食現象をこの視点で見ると、今まで考えてこなかったこと、もしくは考えていたのだけれど、その理屈がなんとなく分かりづらかったと思っていたことを、かなり明快に見せてくれることが分かる。そのような具体例をいくつかの例題で示しながら、今後使ってみようと思われる人が出てくることを期待して説明してみる。今回示すデータは、『そんなの当たり前！』と思われるデータが多いが、私自身は、その当たり前のことに非常に強い魅力を感じているので、聞いていただければ幸いである。

連絡先：工学研究院応用化学部門 伏見公志（内線：6737）